

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 4 月 1 日

事業名称	都市計画事務事業費 [東京都福祉のまちづくり条例に基づく届出の受理等に関する事務]							
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業番号 3	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)							
	<input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名	都市計画 課 地域整備 係			課長名	神山 尚			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	2 - 6		
【施策名】 地域福祉の推進					総合計画書(ページ)	65		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 東京都福祉のまちづくり条例の対象施設			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 届出書の件数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 高齢者や障害者を含めたすべての人が、安全、安心、快適に暮らし、訪れることができるまちづくりを進めるために、整備基準(遵守基準)への適合を求める。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 整備基準(遵守基準)の適合件数/届出書の件数				
	③ そのために何をしましたか。 施設整備について、事業者と協議をした。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 整備基準(遵守基準)の適合件数				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
	対象指標	①の数値	件	5	2	4		
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0		
	目 標	②の目標値	%				100	100
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 対象施設のすべてが整備基準(遵守基準)に適合するよう求める。								
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	10,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	0	0	0		
		特定財源	円	0	0	10,000		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.3	0.3		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	3,301,200	2,473,200	2,493,000		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	3,301,200	2,473,200	2,503,000			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く							
	東京都福祉のまちづくり条例は、ユニバーサルデザインを基本理念とし、高齢者や障害者を含めたすべての人が、安全、安心、快適に暮らし、訪れることができるまちづくりを進めることを目的に平成7年4月に制定された。しかし、同条例の手続き上、福祉部署が関与する機会がない。また、福祉のまちづくり条例の対象施設は、建物、道路、公園など広範囲に及ぶことから、庁内、市民、及び事業主に広くPRすることも必要である。							
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く							
	庁内の福祉部門、施設管理部門、施設建設部門と適宜情報共有を図る。 福祉の視点からまちづくりを進めるため。							